あすか製薬ホールディングス株式会社

ASKA HD REPORT 2025

統合報告書 2024.4.1 ▸ 2025.3.31
ASKA Pharmaceutical Holdings Co., Ltd.

あすか製薬ホールディングス株式会社

Total Healthcare Company
with a Strong Foundation
as a Specialty Pharma Company

この印刷物に使用している紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

この報告書は、適切に管理された森林からの原料を含む「FSC®認証紙」を使用しています。

本誌は環境に配慮し、植物油インキを使用しています。

有害物の発生量や使用量が少ない「水なし印刷方式」を採用しています。

2025年9月

先端の創薬を通じて
人々の健康と明日の社会に貢献する

スペシャリティファーマを基盤とする
トータルヘルスケアカンパニー

価値創造のあゆみ

1920～1955 製薬企業として第一歩を踏み出す

1955～2005 広く社会に貢献する会社へ

2005～2021 あすか製薬の誕生

2021～ さらなる成長を目指す

1920 「帝国社臓器薬研究所」を横浜市南吉田町に創立

1955 東京証券取引所に上場

2005 「あすか製薬株式会社」の誕生



創業者
山口八十八

売上高の推移（百万円）

価値創造のあゆみ

2021～

あすか製薬ホールディングス株式会社

あすかアニマルヘルス

あすか製薬

あすか製薬メディカル



価値創造のあゆみ

2021～

あすか製薬ホールディングス株式会社

創立当初から
培ってきた
ホルモンに関する
ノウハウ

あすか製薬
医療用医薬品事業

あすか
アニマルヘルス
アニマルヘルス事業

あすか製薬
メディカル
検査事業

中期経営計画2025

数値目標

売上高 700億円　　営業利益率 8%　　ROE 8%

4つのビジョン

1. 医療用医薬品を軸に事業スコープ（領域、地域）を拡大する
2. オープンイノベーション推進により業務革新を実現する（研究開発～生産～販売）
3. 中核となる国内医薬品事業（スペシャリティ領域）で国内トップを確立する
4. 社会から信頼される会社であり続ける

7つの戦略

1. スペシャリティ領域の取り組み強化による企業価値向上
2. 先端創薬による新薬の継続的創出
3. 海外事業の展開
4. トータルヘルスケア実現に向けた新たな価値提供
5. 業務効率化、コスト削減、財務基盤の強化
6. コンプライアンスの徹底と信頼性を重視する組織風土の醸成
7. 成長戦略を実現するための人材育成

中期経営計画の土台

専門性　|　生み出す力　|　社会貢献

中期経営計画2025

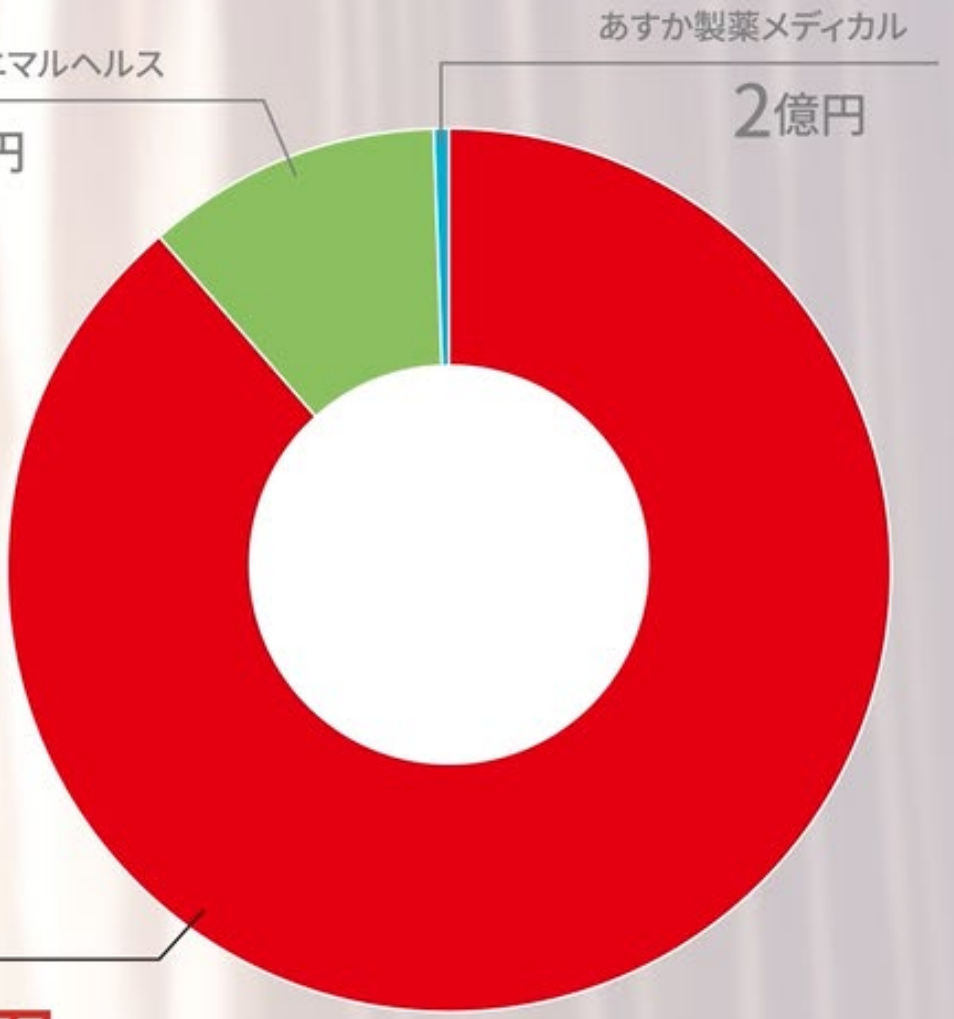
6つのマテリアリティ（最重要課題）

- 人権の尊重
- 女性の健康とアニマルヘルスに貢献する
- 企業価値向上のための多様な人材の育成
- 高品質な製品の安定供給と適正情報提供
- 環境経営の推進
- ガバナンス強化

あすか製薬株式会社

あすか製薬ホールディングス
2024年度売上高

641億円

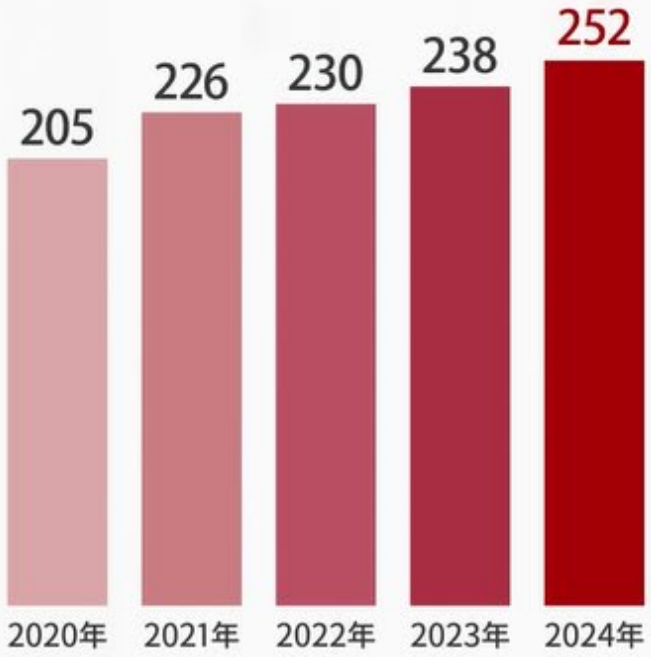


あすか製薬株式会社

女性特有の疾患の罹患数

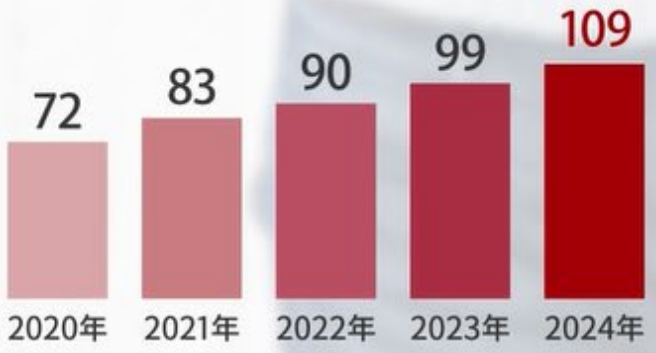
子宮筋腫

252万人



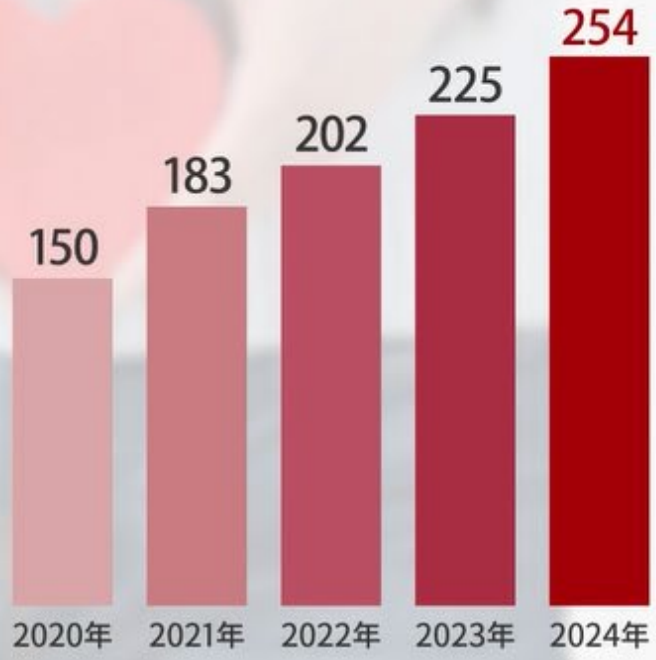
子宮内膜症

109万人



月経困難症

254万人



※出所：株式会社JMDC調査（各年1月～12月までの12ヵ月間）

あすか製薬株式会社



女性特有の月経随伴症状による年間の経済損失

4,617億円

※出所：経済産業省「女性特有の健康課題による経済損失の試算と健康経営の必要性について」（令和6年2月）
あすか製薬株式会社「働く女性を対象とした月経随伴症状のセルフケアに関する実態調査」（2025年9月）

あすか製薬株式会社

月経随伴症状のケアをしなかった場合の経済損失額

1兆543億円

月経随伴症状のケアを通じた
経済損失削減額

5,926億円

うち、あすか製薬による
経済損失削減額 **813億円**

うち、あすか製薬の医薬品に
よる経済損失削減額
488億円

うち、あすか製薬の疾患啓発に
よる経済損失削減額
325億円

月経随伴症状による現在の経済損失額

4,617億円



※出所：経済産業省「女性特有の健康課題による経済損失の試算と健康経営の必要性について」（令和6年2月）
あすか製薬株式会社「働く女性を対象とした月経随伴症状のセルフケアに関する実態調査」（2025年9月）

あすか製薬株式会社







「女性のための健康ラボMint+」

疾患啓発を通じ、年間325億円の経済損失を回避

あすか製薬株式会社

産婦人科領域 国内売上No.1の
リーディングカンパニーとして

予防から検査・診断、治療
そして予後までを見据えたアプローチで
社会課題の解決に貢献



あすか製薬株式会社











主力製品のご紹介









あすか製薬株式会社

2024年度 売上高

子宮筋腫・子宮内膜症治療剤「レルミナ」

105億円



月経困難症治療剤「ドロエチ」

75億円



産婦人科領域 全体

281億円

あすか製薬株式会社



経口避妊剤「スリンダ」
日本初承認の黄体ホルモン単独製剤

あすか製薬株式会社



肝性脳症治療剤「リフキシマ」



甲状腺機能低下症治療剤「チラーヂン」

医療関係者から支持され、堅調な業績を牽引

あすか製薬株式会社



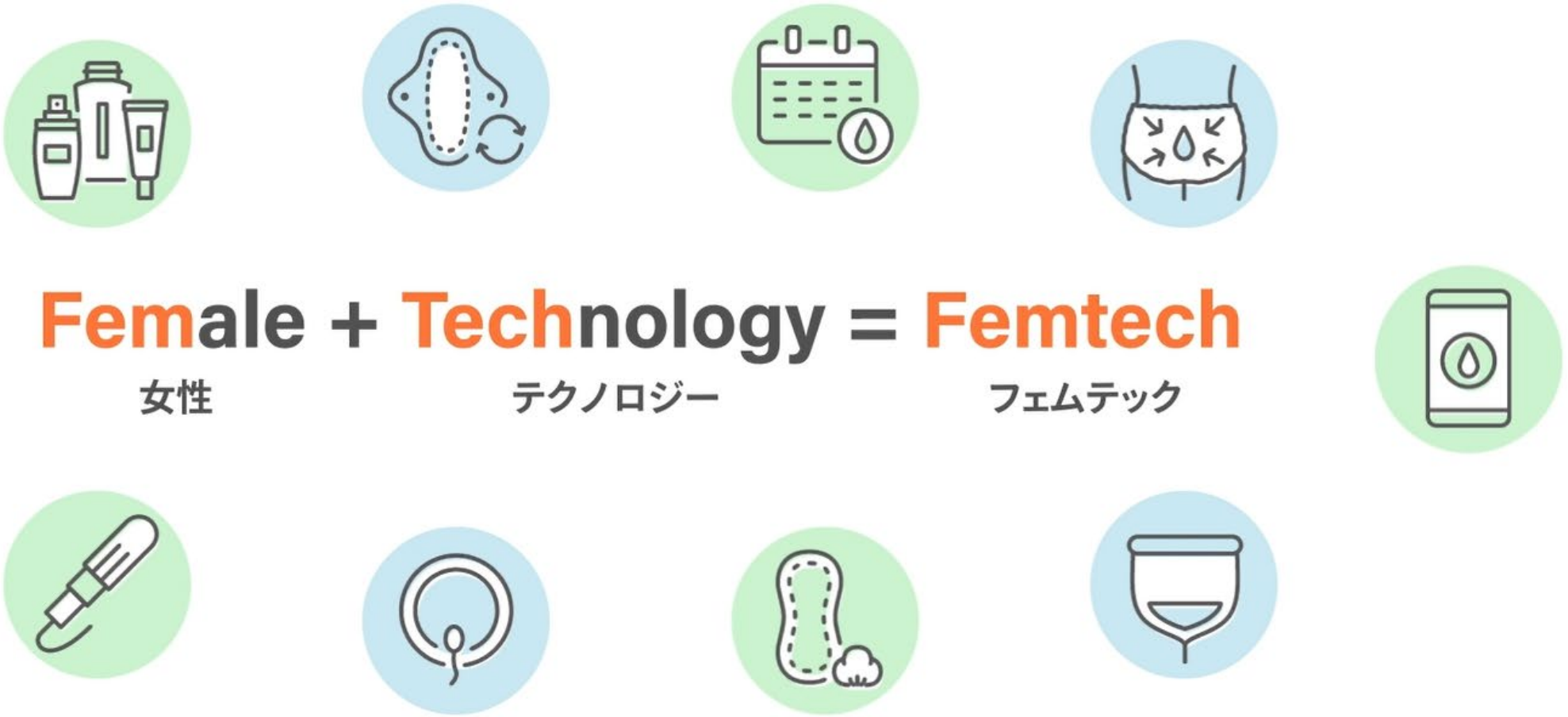
Hataphar社を連結子会社化

あすか製薬株式会社



MedChoice Pharma社と提携

あすか製薬株式会社



Female + Technology = Femtech

女性　テクノロジー　フェムテック

女性特有の健康課題をテクノロジーで解決する
「フェムテック」の取り組みを推進

あすか製薬株式会社

20周年社会貢献プロジェクト　Powered by あすか製薬株式会社

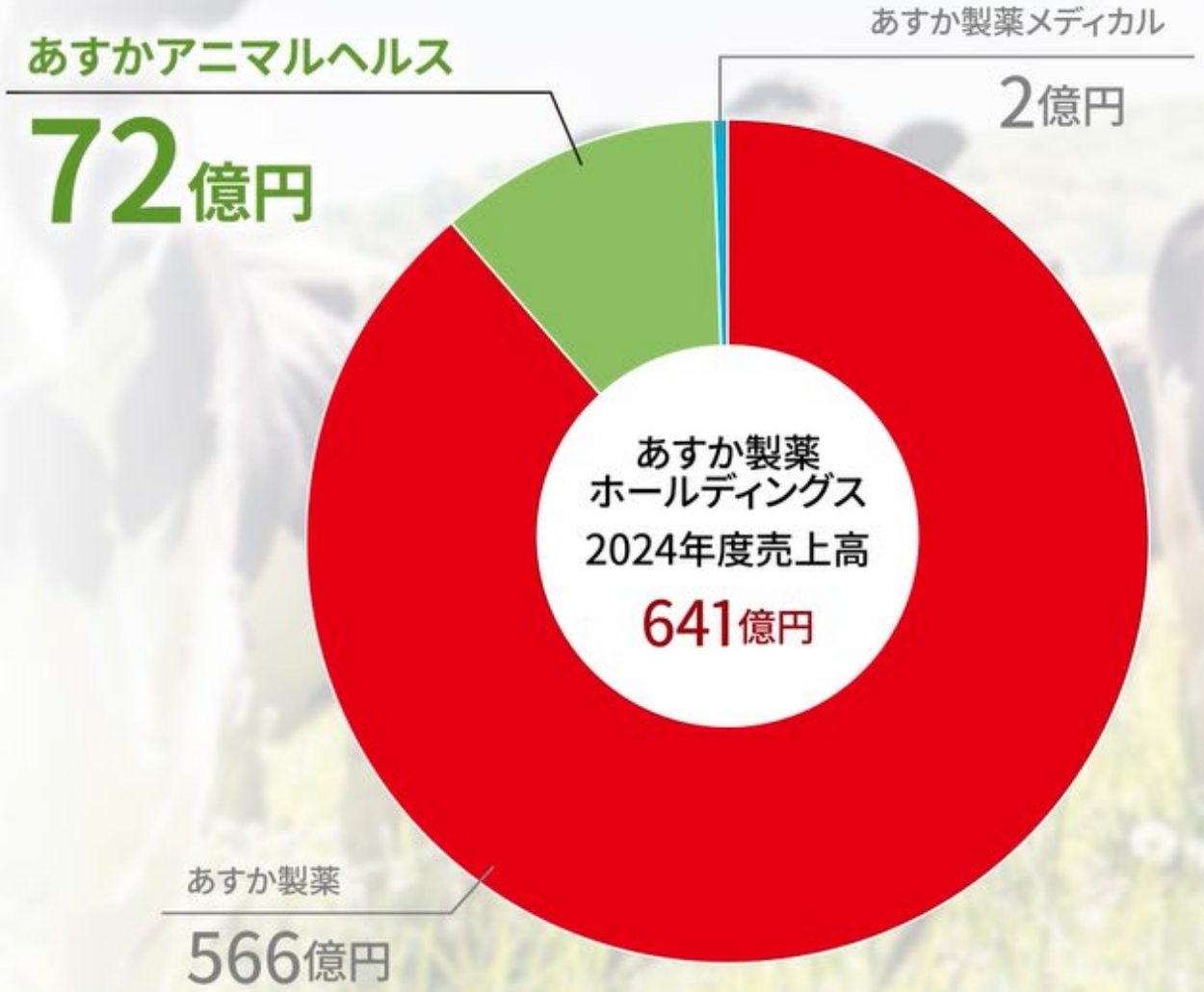
Wings of Women

あすかアニマルヘルス株式会社

人と動物が共生できる社会づくりに貢献します







株式会社あすか製薬メディカル

最新の測定技術を通して豊かな健康社会づくりに貢献します

爪ストレスホルモン量検査キット



「コルチゾール」

毛髪ホルモン量測定キット



「テストステロン」

ホルモン量測定キット



～Proges～「プロジェス」
（プロゲステロン）

検査キットの開発や環境モニタリングなどを通じて
皆さまのトータルヘルスケアに貢献

決算ハイライト

2025年3月期の決算で過去最高の売上高を4期連続※で更新

売上高（連結）	641億円	（前同比2.1%増加、過去最高を更新）
売上原価	328億円	（売上原価率 前同比0.1ポイント改善）
販管費及び一般管理費	260億円	（売上高販管費率 前同比2.0ポイント増加）
営業利益	53億円	（前同比18.0%減少）

※ホールディングス体制移行後


あすも、みらいも、すこやかに


すこやかな人生を歩む一人ひとりのために
人と動物が幸せに暮らす社会のために



あすか製薬ホールディングス株式会社